

各感染症対策比較表

方式	酸素クラスター除菌脱臭装置	次亜塩素酸水	オゾン発生器	UV-C照射器
原理	独自のマイクロプラズマ放電技術※1によって空気中の酸素分子を電離させ大量の酸素クラスターイオンを発生させ、除菌・ウイルス除去します。	次亜塩素酸を主成分とする酸性の水溶液で酸化作用があり、一定の条件を満たせば除菌・ウイルス除去効果を発揮します。	酸化力の高いオゾンを生成させ、除菌・ウイルス除去します。	短波長の紫外線を照射し、除菌・ウイルス除去します。
有人空間での使用	○	△	△	△
使用時の手間	なし	あり	あり	あり
空間の除菌	○	×	○	△
物の表面の除菌	○	○	○	○
使い方	室内空間にて壁掛や天井付けにて24時間運転可能です。	一定濃度に調整した水溶液を使用します。※2 ①拭き掃除 有効塩素濃度80ppm以上の次亜塩素酸水溶液をたっぷり使い、消毒したいものの表面を濡らした後、20秒以上接触させます。 ②流水掛け流し 35ppm以上のものを20秒以上掛け流します。	人体に許容される暴露時間が制限されています。 濃度0.1ppmで1日8時間まで使用可能です。 ※3	①適切なシールドと安全装置を取り付けることによって有人空間で使用可能です。 ②効果は距離の二乗に反比例して弱くなるため広い範囲に照射するような配置が必要です。
使用上の注意	なし	①一定濃度以上に調整しないと効果が発揮されません。 ②目に入ったり吸い込まないように注意が必要です。 ※4	①有人空間で使用する場合は濃度管理が必要であり、効果が懸念されます。 ②高濃度で使用する場合は効果が発揮されますが、人体へ影響があります。	①人の目を損傷し、人の皮膚に激しい日焼けのような反応を引き起こすUV-C放射傷害には特に注意が必要です。 ②UV-C放射は物質を損傷します。 ③人間に対しての毒性が知られているオゾン(O3)も生成します。オゾンは、240nm未満の波長の光放射に曝されることにより、空気中で生成されます。 ※5

※弊社機器および一般的な機器を想定した場合の評価イメージです